

科目名称	臨床整復学実習
授業コード	BH415
英語名称	Clinical Reposition by Judo practice 8
学期	2024年度前期
単位	2.0
担当教員	佐藤 勉, 山中 博之, 戸部 悠紀
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	本実習は競技者や高齢者の外傷予防に関する内容を教授する。また、基礎整復学 で学んだ競技者や高齢者の外傷保存療法の経過及び治癒の判定についてさらに理解を深める実習を行う。
科目に関連する実務経験と授業への活用	臨床経験豊富な非常勤講師（山中；接骨院院長、柔道整復師）および本学教員（佐藤、戸部；柔道整復師）が臨床現場で行う施術録の手法を演習を通じて教授する。
到達目標	カリキュラムポリシーに掲げる柔道整復の応用力・実践力、および主体性やコミュニケーション能力を身につけることを目的とする。具体的には下記の到達目標をあげる。 1.競技者や高齢者の外傷予防および外傷保存療法の経過及び治癒の判定に関して理解し実践できることを目標とする。 2.各外傷についての発生機序から症状などを説明でき、診察法、応急処置、治療法、後療法などを適切に実施できる知識や技術を身に付ける。 3.学んだ知識をもとに患者の状態を的確に判断し適切な治療を行うことができる。 4.コミュニケーション能力を発揮できる。
計画・内容	1),2) ガイダンス：佐藤（柔道整復師）、山中（柔道整復師）、戸部（柔道整復師） 3),4) 運動が生体に与える影響（エネルギー代謝、筋骨への影響）：佐藤（柔道整復師）、山中（柔道整復師）、戸部（柔道整復師） 5),6) 運動による呼吸・循環への影響：佐藤（柔道整復師）、山中（柔道整復師）、戸部（柔道整復師） 7),8) 競技者の外傷予防と保存療法の経過及び治癒の判定（上肢）：佐藤（柔道整復師）、山中（柔道整復師）、戸部（柔道整復師） 9),10) 競技者の外傷予防と保存療法の経過及び治癒の判定（体幹）：佐藤（柔道整復師）、山中（柔道整復師）、戸部（柔道整復師） 11),12) 競技者の外傷予防と保存療法の経過及び治癒の判定（上肢）：佐藤（柔道整復師）、山中（柔道整復師）、戸部（柔道整復師） 13),14) 競技者の外傷予防と保存療法の経過及び治癒の判定（柔道）：佐藤（柔道整復師）、山中（柔道整復師）、戸部（柔道整復師） 15),16) 競技者の外傷予防と保存療法の経過及び治癒の判定（水泳）：佐藤（柔道整復師）、山中（柔道整復師）、戸部（柔道整復師） 17),18) 競技者の外傷予防と保存療法の経過及び治癒の判定（バスケット）：佐藤（柔道整復師）、山中（柔道整復師）、戸部（柔道整復師） 19),20) 競技者の外傷予防と保存療法の経過及び治癒の判定（サッカー）：佐藤（柔道整復師）、山中（柔道整復師）、戸部（柔道整復師） 21),22) 競技者の外傷予防と保存療法の経過及び治癒の判定（成長期外傷）：佐藤（柔道整復師）、山中（柔道整復師）、戸部（柔道整復師） 23),24) 競技者の外傷予防と保存療法の経過及び治癒の判定（これまでのまとめ）：佐藤（柔道整復師）、山中（柔道整復師）、戸部（柔道整復師） 25),26) 高齢者の外傷予防と保存療法の経過及び治癒の判定：佐藤（柔道整復師）、山中（柔道整復師）、戸部（柔道整復師） 27),28) 総合復習 12)回まで：佐藤（柔道整復師）、山中（柔道整復師）、戸部（柔道整復師）

計画・内容	29),30) 総合復習 13)回以降：佐藤（柔道整復師）、山中（柔道整復師）、戸部（柔道整復師）
授業の進め方	配付資料や教科書にて実習を進める。
能動的な学びの実施	該当なし
授業時間外の学修	予習・復習を計60時間以上行うこと（教科書やプリントと関連付けて自分の講義ノートを整理すること）。
教科書・参考書	教科書 柔道整復学理論編編（全国柔道整復学校協会編、南工堂） 競技者の外傷予防（全国柔道整復学校協会編、医歯薬出版）
成績評価方法と基準	定期試験（100%）
課題等に対するフィードバック	学生の質問の都度、指導を行う。
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	これまで学んだ生理学、解剖学、柔道整復理論および運動学を必要とする。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	zoomによるオンライン授業と課題学修を組み合わせる。 授業中課題30%と掲示機能を用いて期末試験70%で評価する。